

2. 経費支出概要書（経費内訳）

八尾商工会議所

(単位：円)

(1) 経営相談支援事業

区 分	変更前			変更後			差額	
	事業所数/回数	算定基準	補助金額	事業所数/回数	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
事業所カルテ・サービス提案	270	6,750,000		270	6,750,000		0	
支援機関等へのつなぎ	3	30,000		3	30,000		0	
金融支援（紹介型）	4	120,000		19	570,000		450,000	
金融支援（経営指導型）	124	4,960,000		124	4,960,000		0	
マル経融資等の返済条件緩和支援	0	0		0	0		0	
資金繰り計画作成支援	8	160,000		8	160,000		0	
記帳支援	4	100,000		4	100,000		0	
労務支援	28	560,000		28	560,000		0	
人材育成計画作成支援	0	0		0	0		0	
マーケティング力向上支援	10	200,000		10	200,000		0	
販路開拓支援	8	160,000		8	160,000		0	
事業計画作成支援	20	1,000,000		20	1,000,000		0	
創業支援	5	100,000		5	100,000		0	
事業継続計画(BCP)作成支援	20	400,000		20	400,000		0	
コスト削減計画作成支援	0	0		0	0		0	
財務分析支援	0	0		0	0		0	
5S支援	0	0		0	0		0	
IT化支援	20	400,000		20	400,000		0	
債権保全計画作成支援	0	0		0	0		0	
事業承継支援	10	200,000		10	200,000		0	
災害時対応支援	0	0		0	0		0	
フォローアップ支援	64	320,000		64	320,000		0	
結果報告	260	2,600,000		260	2,600,000		0	
小 計	—	18,060,000	18,060,000	—	18,510,000	18,506,330	450,000	446,330

(2) 専門相談支援事業

事業名	変更前			変更後			差額	
	支援日数	算定基準	補助金額	支援日数	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
金融専門相談員	61	1,464,000		61	1,464,000		0	
法律	9	216,000		9	216,000		0	
税務	89	2,136,000		89	2,136,000		0	
労務	10	240,000		10	240,000		0	
特許	3	72,000		3	72,000		0	
登記	1	24,000		1	24,000		0	
経営	67	1,608,000		67	1,608,000		0	
IT	18	432,000		18	432,000		0	
小 計	—	6,192,000	6,192,000	—	6,192,000	6,192,000	0	0

※支援日数×24,000円。ただし、記帳支援のために税理士を活用する場合、事業所数×26,000円

(3) 地域活性化事業

	変更前		変更後		差額	
	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
小 計	別紙事業調書のとおり	29,077,660	別紙事業調書【変更後】のとおり	28,631,330		▲ 446,330

(4) 商工会等支援事業

	変更前		変更後		差額	
	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
小 計	別紙事業調書のとおり	0	別紙事業調書【変更後】のとおり	0		0

(5) 合計

	変更前		変更後		差額	
		補助金額		補助金額		補助金額
申請合計		53,329,660		53,329,660		0

事業名		地域資源発掘ブランド化推進事業	新規/継続	継続
想定する実施期間		2011 年度～ 2022 年度まで	←複数年段階的实施事業は左欄に○を また、別紙にて計画を提出すること	
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような 状態にしたいか)	<p>①2006年4月からスタートした「地域団体商標制度」、2007年6月施行の「地域資源法(中小企業地域産業資源活用促進法)」の以降から、全国各地では地域資源を活用したブランディングの取り組みが活発化している。地域資源を活用した新たな商品・サービスを開発することで、取引や雇用を拡大し、地域経済を活性化することを目的としている。</p> <p>②一方、八尾市内においても八尾枝豆や若ごぼう等の特産品はあるものの、八尾市を代表し全国へ発信できる商品がまだ数少ないのが現状である。</p> <p>③八尾市内を代表するような地域資源を活かした新たな特産品を「八尾コレクション」として認定し、お土産やギフトとして販売できる商品を開発・発掘する。</p> <p>④八尾の魅力発信を目的に、八尾コレクション受賞店舗を中心とした市内店舗等の売上拡大に向けたPR支援を実施する。</p>		
	支援する対象 (業種・事業所数等)	<p>①業種・事業所数等 飲食店(1,130件)※八尾市統計書2019年版(平成4年10月1日時点) 飲食料点小売業(534件)※八尾市統計書2019年版(平成28年6月1日時点) 飲食料品製造業(69件)※八尾市統計書2019年版(平成28年6月1日時点)</p> <p>②主なターゲット 地域資源を活用した商品の開発・販売に意欲的な事業所</p>		
	事業に対する 企業ニーズ (内容・把握方法等)	<p>①贈答品の1世帯当たり1ヶ月間の支出金額は全国平均で13,001円、 近畿地方では12,970円。(内閣府2018年度消費動向調査)</p> <p>②菓子の1世帯当たり1ヶ月間の支出金額は全国平均83,027円。(平成27年度家計調査)</p> <p>(2018年度アンケート抜粋)</p> <p>①八尾コレクション受賞店舗への各販売会におけるアンケートを実施したところ、販売会への参加動機としては、「商品・店舗のPR」、「出品商品の消費者への訴求力を確かめるため」との回答が多い。</p> <p>②事業を行う上での課題では「売上拡大」との回答が最も多く挙げられた。</p>		

事業名		地域資源発掘ブランド化推進事業	新規/継続	継続
これまでの 取組状況 ※継続事業の 場合のみ記入	実施内容・ 実績数値	<p>■2019年度(令和1年度) [販売会・PR活動]</p> <p>①「第42回八尾河内音頭まつり マルシェdeオンド」PR活動・アンケート調査 【場 所】久宝寺緑地 陸上競技場(河内音頭まつりマルシェdeオンド会場内) 【開催日時】2019年9月8日(日)11:00~18:00 【PR者数】1,743名(①チラシ配布数:1,500部/②アンケート数:243名)</p> <p>②「ビジネスチャンス発掘フェア」地域資源商品販売会 【場 所】マイドームおおさか 【開催日時】2019年11月27日(水) 10:00~17:00、11月28日(木) 10:00~16:00 【PR者数】1,071名 (①カタログ配布数:1,000部/②販売者数:71名 販売点数:263点 売上69,788円)</p> <p>③「LNOAS」地域資源商品販売会(出品企業数:実施中) 【場 所】LNOAS2階 【開催日時】2020年1月24日(金)・25日(土) 各日10:00~18:00 【PR者数】実施中</p> <p>④「LNOAS」地域資源商品販売会(出品企業数:実施中) 【場 所】LNOAS2階 【開催日時】2020年2月28日(金)・29日(土) 各日10:00~18:00 【PR者数】実施中</p> <p>[八尾コレクション2019セレクション] ①【場 所】八尾商工会議所 3階 大ホール 【開催日時】2020年1月18日(土)14:00~16:30</p>		
	反省点	<p>①販売会に出店はしたいものの、人員不足から断念する店舗が多い。 ②八尾コレクション受賞店舗の中でも、物産店等への参加意向等については温度差があるため、今後は、審査の際、物産展出店等も含めた販売計画、販売意欲等を確認することを検討。</p>		
具体的な実施 内容・ 手法 (該当型 に○) いつ どこで 何を どのよう にする のかを 明確に)	人材育成型	<p>・八尾の地域ブランド商品等販売会 八尾コレクション受賞商品を中心に、様々な催し物会場等で地域資源を活用している八尾の地域ブランド商品の販売促進支援を行なう。</p>		
	人材交流型	<p>●市内商業施設販売会 2020年5月中旬 出店舗数5店舗 来場予想者数 約1,500名</p>		
	○ 販路開拓型	<p>●「第42回八尾河内音頭まつり マルシェdeオンド」PR活動・アンケート調査 2020年9月中旬 PR計画数 約1,000名</p>		
	ハスオン型	<p>●ビジネスチャンス発掘フェア 2020年11月下旬 出店舗数5店舗 来場予想者数 約1,000名</p>		
	独自提案型	<p>●市内商業施設販売会 2021年2月上旬 出店舗数5店舗 来場予想者数 約1,500名</p>		
事業手法 (該当する場合は ○印と下欄に その根拠)	(a)府施策連携	(b)広域連携	○ (c)市町村連携	(d)相談事業相乗効果
<p>八尾市産業政策課魅力創造室と八尾市観光協会との連携。八尾市産業政策課魅力創造室には出品応募やセカンドセレクション(試食審査)の一般市民募集等の広報面を中心に、八尾市観光協会には出品応募や受賞後の商品・店舗PRを中心に連携する。</p>				

事業名		地域資源発掘ブランド化推進事業				新規/継続	継続		
事業の目標	支援対象企業数	設定根拠及び募集方法⇒	①ビジネスチャンス発掘フェア 5店舗 ②市内大型商業施設(LNOAS)販売会 5店舗×2回(10店舗)						
		15 社							
	支援対象企業の変化	八尾コレクションに取り組むことで、支援対象企業が地場地域資源や八尾ブランドを認識するようになり、地域資源を活用した商品を開発することで地域活性や地域貢献を意識した経営に繋がる。また、開発した商品をお土産やギフトとして売り出すことによって、八尾ブランド化商品取扱店として継続的に打ち出すことができる。							
		指標	販売会に出たことにより売上が上がった事業所数		数値目標	12社			
その他目標値	目標値の内容⇒	●販売会等実施によるPR数 ・市内大型商業施設販売会① PR予定者数 1,500名 ・マルシェdeオンド PR予定者数 1,000名 ・ビジネスチャンス発掘フェア PR予定者数 1,000名 ・市内大型商業施設販売会② PR予定者数 1,500名 計5,000名							
	5,000 名								
算定基準 (行が足りない場合は、⇒の行に挿入)	⇒	サービス単価		支援企業数		係数		標準事業費	
		@50,500 円 ×		15 社 ×		1.00 =		757,500 円	
		@50,500 円 ×		5,000 名 ×		0.01 =		2,525,000 円	
		(小計) 3,282,500 円							
		※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算(小計の5%) 円							
		計 3,282,500 円							
算定基準により算出される額	独自提案単価及び独自補正係数の根拠 (基準どおりの場合不要)								
	算出額	①市町村等補助	円	交付市町村等					
		②受益者負担	円	負担金の積算					
		(a)府施策連携	(b)広域連携	○	(c)市町村連携	(d)相談事業相乗効果			
		標準事業費	補助率			(①市町村等+②受益者負担)			
	3,282,500 円 ×	0.50 =	1,641,250 円		(円)				
補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体またはヒアリングで説明する代表団体に○)	代	商工会・会議所名	配分額		役割(配分の考え方)				
			円						
			円						
			円						
			円						

【備考】

※別添で補足する内容があれば添付してください。

事業名		地域資源発掘ブランド化推進事業	新規/継続	継続
想定する実施期間		2011 年度～ 2022 年度まで	←複数年段階的实施事業は左欄に○を また、別紙にて計画を提出すること	
事業 の 概 要	事業の目的 (現状や課題をどのような 状態にしたいか)	<p>①2006年4月からスタートした「地域団体商標制度」、2007年6月施行の「地域資源法(中小企業地域産業資源活用促進法)」の以降から、全国各地では地域資源を活用したブランディングの取り組みが活発化している。地域資源を活用した新たな商品・サービスを開発することで、取引や雇用を拡大し、地域経済を活性化することを目的としている。</p> <p>②一方、八尾市内においても八尾枝豆や若ごぼう等の特産品はあるものの、八尾市を代表し全国へ発信できる商品がまだ数少ないのが現状である。</p> <p>③八尾市内を代表するような地域資源を活かした新たな特産品を「八尾コレクション」として認定し、お土産やギフトとして販売できる商品を開発・発掘する。</p> <p>④八尾の魅力発信を目的に、八尾コレクション受賞店舗を中心とした市内店舗等の売上拡大に向けたPR支援を実施する。</p>		
	支援する対象 (業種・事業所数等)	<p>①業種・事業所数等 飲食店(1,130件)※八尾市統計書2019年版(平成4年10月1日時点) 飲食料品小売業(534件)※八尾市統計書2019年版(平成28年6月1日時点) 飲食料品製造業(69件)※八尾市統計書2019年版(平成28年6月1日時点)</p> <p>②主なターゲット 地域資源を活用した商品の開発・販売に意欲的な事業所</p>		
	事業に対する 企業ニーズ (内容・把握方法等)	<p>①贈答品の1世帯当たり1ヶ月間の支出金額は全国平均で13,001円、近畿地方では12,970円。(内閣府2018年度消費動向調査)</p> <p>②菓子の1世帯当たり1ヶ月間の支出金額は全国平均83,027円。(平成27年度家計調査)</p> <p>(2018年度アンケート抜粋)</p> <p>①八尾コレクション受賞店舗への各販売会におけるアンケートを実施したところ、販売会への参加動機としては、「商品・店舗のPR」、「出品商品の消費者への訴求力を確かめるため」との回答が多い。</p> <p>②事業を行う上での課題では「売上拡大」との回答が最も多く挙げられた。</p>		

事業名		地域資源発掘ブランド化推進事業	新規/継続	継続
これまでの 取組状況 ※継続事業の 場合のみ記入	実施内容・ 実績数値	<p>■2019年度(令和1年度) [販売会・PR活動]</p> <p>①「第42回八尾河内音頭まつり マルシェdeオンド」PR活動・アンケート調査 【場 所】久宝寺緑地 陸上競技場(河内音頭まつりマルシェdeオンド会場内) 【開催日時】2019年9月8日(日)11:00~18:00 【PR者数】1,743名(①チラシ配布数:1,500部/②アンケート数:243名)</p> <p>②「ビジネスチャンス発掘フェア」地域資源商品販売会 【場 所】マイドームおおさか 【開催日時】2019年11月27日(水) 10:00~17:00、11月28日(木) 10:00~16:00 【PR者数】1,071名 (①カタログ配布数:1,000部/②販売者数:71名 販売点数:263点 売上69,788円)</p> <p>③「LINOAS」地域資源商品販売会(出品企業数:実施中) 【場 所】LINOAS2階 【開催日時】2020年1月24日(金)・25日(土) 各日10:00~18:00 【PR者数】実施中</p> <p>④「LINOAS」地域資源商品販売会(出品企業数:実施中) 【場 所】LINOAS2階 【開催日時】2020年2月28日(金)・29日(土) 各日10:00~18:00 【PR者数】実施中</p> <p>[八尾コレクション2019セレクション] ①【場 所】八尾商工会議所 3階 大ホール 【開催日時】2020年1月18日(土)14:00~16:30</p>		
	反省点	<p>①販売会に出店はしたいものの、人員不足から断念する店舗が多い。 ②八尾コレクション受賞店舗の中でも、物産店等への参加意向等については温度差があるため、今後は、審査の際、物産展出店等も含めた販売計画、販売意欲等を確認することを検討。</p>		
具体的な実施 内容・ 手法 (該当型 に○) いつ・ どこで・ 何を・ どのよう にする のかを 明確に)	人材育成型	<p>・八尾の地域ブランド商品等販売会 八尾コレクション受賞商品を中心に、様々な催し物会場等で地域資源を活用している八尾の地域ブランド商品の販売促進支援を行なう。</p>		
	人材交流型	<p>●市内商業施設販売会① 2020年10月中旬 出店舗数5店舗 来場予想者数 約1,800名</p> <p>●ビジネスチャンス発掘フェア 2020年11月下旬 出店舗数5店舗 来場予想者数 約1,400名</p>		
	○ 販路開拓型	<p>●市内商業施設販売会② 2021年2月上旬 出店舗数5店舗 来場予想者数 約1,800名</p>		
	ハズオン型			
	独自提案型			
事業手法 (該当する場合は ○印と下欄に その根拠)	<input type="checkbox"/> (a)府施策連携	<input type="checkbox"/> (b)広域連携	<input checked="" type="checkbox"/> (c)市町村連携	<input type="checkbox"/> (d)相談事業相乗効果
<p>八尾市産業政策課魅力創造室と八尾市観光協会との連携。八尾市産業政策課魅力創造室には出品応募やセカンドセレクション(試食審査)の一般市民募集等の広報面を中心に、八尾市観光協会には出品応募や受賞後の商品・店舗PRを中心に連携する。</p>				

事業名		地域資源発掘ブランド化推進事業				新規/継続	継続		
事業の目標	支援対象企業数	設定根拠及び募集方法⇒	①ビジネスチャンス発掘フェア 5店舗 ②市内大型商業施設(LINOAS)販売会 5店舗×2回(10店舗)						
		15 社							
	支援対象企業の変化	八尾コレクションに取り組むことで、支援対象企業が地場地域資源や八尾ブランドを認識するようになり、地域資源を活用した商品を開発することで地域活性化や地域貢献を意識した経営に繋がる。また、開発した商品をお土産やギフトとして売り出すことによって、八尾ブランド化商品取扱店として継続的に打ち出すことができる。							
		指標	販売会に出たことにより売上が上がった事業所数		数値目標	12社			
その他目標値	目標値の内容⇒	●販売会等実施によるPR数 ・市内大型商業施設販売会① PR予定者数 1,800名 ・ビジネスチャンス発掘フェア PR予定者数 1,400名 ・市内大型商業施設販売会② PR予定者数 1,800名 計5,000名							
	5,000 名								
算定基準により算出される額	算定基準 (行が足りない場合は、⇒の行に挿入)	サービス単価		支援企業数		係数		標準事業費	
		⇒ @50,500	円 ×	15	社 ×	1.00	=	757,500	円
		@50,500	円 ×	5,000	名 ×	0.01	=	2,525,000	円
			円 ×		×		=		円
		(小計)						3,282,500	円
		※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算(小計の5%)							円
		計						3,282,500	円
独自提案単価及び独自補正係数の根拠 (基準どおりの場合不要)									
算出額	①市町村等補助		円	交付市町村等					
	②受益者負担		円	負担金の積算					
	(a)府施策連携	(b)広域連携	○	(c)市町村連携	(d)相談事業相乗効果				
	標準事業費		補助率		(①市町村等+②受益者負担)				
3,282,500 円 ×		0.50 =		1,641,250		円 (円)			
補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体またはヒアリングで説明する代表団体に○)	代	商工会・会議所名	配分額		役割(配分の考え方)				
			円						
			円						
			円						
			円						

【備考】
 「八尾河内音頭まつり マルシェdeオンド」が新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため、本イベントで予定していたPR活動は出来ないが、他の販売会等でのPRを強化することとし、トータルPR目標数(5,000名)についての変更はなし。

※別添で補足する内容があれば添付してください。

事業名		求人確保支援事業	新規/継続	継続
想定する実施期間		1999 年度～	年度まで	←複数年段階的实施事業は左欄に○を また、別紙にて計画を提出すること
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	①人材不足を解消すべく、また時間的、費用的に効率よく求職者を確保できるように若年者から中高年者まで幅広い世代の面接ができる場を設ける。 ②人材を早急に確保したい事業所に対応できるよう、年間を通して定期的に面接会を開催し、求人企業のサポートする。		
	支援する対象 (業種・事業所数等)	①業種・事業所数等 全業種 約12,000事業所 ②主なターゲット 八尾市内全域の企業		
	事業に対する企業ニーズ (内容・把握方法等)	①地元での採用を望む求人事業所も多い中、地元で就職を希望する求職者にとっては、地元事業所に特化した求職情報が得られる機会となり、両者からのマッチングの需要に合致する。 ②企業としては求人活動に投資することは難しく、できる限り低コストで人材採用を行ってほしいというニーズがある。		
これまでの取組状況 ※継続事業の場合のみ記入	実施内容・実績数値	<p>無料職業紹介所の登録企業より参加いただき、八尾市内の求職者を中心に実施。 〔就職面接会・説明会〕 2019年 5月10日…事業所数24社 来場者26名 面接者延べ38名 2019年 7月 5日…事業所数23社 来場者36名 面接者延べ38名 2019年 9月 7日…事業所数24社 来場者32名 面接者延べ43名 2019年 1月21日…事業所数24社(予定) 2020年 3月 7日…事業所数24社(予定)</p> <p>2019年度の八尾市無料職業相談所への新規求人事業所登録社数は36社となっている。</p> <p>〔就職フェアかしわら・やお2019〕 2019年11月8日(金) 参加事業所21社(八尾11社、柏原10社) 来場者66名 面接者延べ75名 就職支援セミナー 参加13名 職業適性検査コーナー 参加4名 シルバー人材センターコーナー 参加2名 面接カウンセリングコーナー 8名 若者相談コーナー 0名</p>		
	反省点	新規広報として、Twitter・Facebookを活用したが、効果的な投稿内容の検討ができていないことや、投稿の遅れにより目に見えた効果が発揮できていない。 SNSアカウントの活用の強化や他機関との連携を図る必要がある。		
具体的な実施内容・手法 (該当型に○) いつ・どこで・何を・どのようにするのかを	人材育成型	来春卒業予定者の就職活動解禁日以降に時期を合わせ、八尾市・柏原市合同で就職フェアを開催する。 ・就職フェアやお・かしわら2020 ※2020は幹事・会場が八尾となる 2020年10月(予定)		
	○ 人材交流型	場所:八尾市立文化会館(プリズムホール) 求人社数24社(八尾市16社、柏原市8社) 来場者100名		
	販路開拓型	・就職フェアセミナー 2020年10月(予定) 場所:八尾市立文化会館 受講者数15名		
	ハズオン型	・会社面接会・説明会 2020年5月、7月、9月、12月、2021年3月(予定) 計5回		
	独自提案型	求人社数 50社(1回15社×5回 内、重複20社)来場者150名(1回30名)		

4-2. 地域活性化事業 事業調書【変更前】

八尾商工会議所 (担当者:大西)

事業名		求人確保支援事業				新規/継続	継続
明確に)	事業手法 (該当する場合は ○印と下欄に その根拠)	<input type="radio"/> (a)府施策連携	<input type="radio"/> (b)広域連携	<input type="radio"/> (c)市町村連携	<input type="checkbox"/> (d)相談事業相乗効果		
		労10番 大阪府総合労働事務所、公共職業安定所、八尾市、柏原市、柏原市商工会との共同開催					
事業 の 目 標	支援対象企業数	設定根拠及び 募集方法⇒	就職フェアについては、八尾市内企業16社、柏原市内企業8社を設定。				
		24 社					
	支援対象企業 の変化	①人材確保に割く時間や労力、費用が減少。 ②地元求職者へのPRができ、地元求職者の雇用を希望する企業にとって有力な人材確保に繋がる。 ③参加事業所のPR力を問わず、求職者全体に対してPRができ、雇用へ繋げることができる。					
		指標	求人事業所と求職者とのマッチング数			数値目標	5社
	その他目標値1	目標値の内容⇒	・就職フェア(広域連携:100名) HP・市政だより等でPR。大学、高等学校へも呼びかける。				
		100 名					
	その他目標値2	目標値の内容⇒	就職フェア時にセミナーを開催(広域連携)				
		15 名					
その他目標値3	目標値の内容⇒	・会社説明会・面接会(25名×5回) HP・市政だより等でPR。大学、高等学校へも呼びかける。					
	125 社						
その他目標値4	目標値の内容⇒	八尾市無料職業相談所の求人事業所登録					
	25 社						
その他目標値5	目標値の内容⇒	会社面接会・説明会の参加事業所数(15×5回 重複20社)					
	55 社						

事業名		求人確保支援事業					新規/継続	継続	
算定基準 (行が足りない場合は、⇒ の行に挿入)	⇒	サービス単価		支援企業数		係数		標準事業費	
		40,400	円 ×	24	×	1.00	=	969,600 円	
		40,400	円 ×	100	×	0.05	=	202,000 円	
		20,200	円 ×	15	×	1.00	=	303,000 円	
		40,400	円 ×	125	×	0.05	=	252,500 円	
		40,400	円 ×	25	×	1.00	=	1,010,000 円	
		40,400	円 ×	55	×	1.00	=	2,222,000 円	
		(小計)						4,959,100 円	
		※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算(小計の5%)							円
		計						4,959,100 円	
算定基準により算出される額		独自提案単価及び独自補正係数の根拠 (基準どおりの場合不要)							
算出額	①市町村等補助		円	交付市町村等					
	②受益者負担		円	負担金の積算					
	<input type="radio"/>	(a)府施策連携	<input type="radio"/>	(b)広域連携	<input type="radio"/>	(c)市町村連携	<input type="radio"/>		(d)相談事業相乗効果
	標準事業費		補助率			(①市町村等+②受益者負担)			
	1,474,600 円 × 1.00 =		1,474,600 円		(円)				
	3,484,500 円 × 0.50 =		1,742,250 円		(円)				
補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体 またはヒアリングで説明する 代表団体に○)	代	商工会・会議所名	配分額		役割(配分の考え方)				
	○	八尾商工会議所	2,725,317 円		[就職フェアやお・かしわらの按分] 参加事業所数24社(八尾16社、柏原8社)、来場者100名、セミナー受講者15名分の補助金を八尾16/24、柏原8/24で按分⇒八尾983,067円				
		柏原市商工会	491,533 円						
			円						
			円						
		円							

【備考】

※別添で補足する内容があれば添付してください。

事業名		求人確保支援事業	新規/継続	継続
想定する実施期間		1999 年度～	年度まで	←複数年段階的实施事業は左欄に○を また、別紙にて計画を提出すること
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	①人材不足を解消すべく、また時間的、費用的に効率よく求職者を確保できるように若年者から中高年者まで幅広い世代の面接ができる場を設ける。 ②人材を早急に確保したい事業所に対応できるよう、年間を通して定期的に面接会を開催し、求人企業のサポートする。		
	支援する対象 (業種・事業所数等)	①業種・事業所数等 全業種 約12,000事業所 ②主なターゲット 八尾市内全域の企業		
	事業に対する企業ニーズ (内容・把握方法等)	①地元での採用を望む求人事業所も多い中、地元で就職を希望する求職者にとっては、地元事業所に特化した求職情報が得られる機会となり、両者からのマッチングの需要に合致する。 ②企業としては求人活動に投資することは難しく、できる限り低コストで人材採用を行ってきたいというニーズがある。		
これまでの取組状況 ※継続事業の場合のみ記入	実施内容・実績数値	<p>無料職業紹介所の登録企業より参加いただき、八尾市内の求職者を中心に実施。 〔就職面接会・説明会〕 2019年 5月10日…事業所数24社 来場者26名 面接者延べ38名 2019年 7月 5日…事業所数23社 来場者36名 面接者延べ38名 2019年 9月 7日…事業所数24社 来場者32名 面接者延べ43名 2019年 1月21日…事業所数24社(予定) 2020年 3月 7日…事業所数24社(予定)</p> <p>2019年度の八尾市無料職業相談所への新規求人事業所登録社数は36社となっている。</p> <p>〔就職フェアかしわら・やお2019〕 2019年11月8日(金) 参加事業所21社(八尾11社、柏原10社) 来場者66名 面接者延べ75名 就職支援セミナー 参加13名 職業適性検査コーナー 参加4名 シルバー人材センターコーナー 参加2名 面接カウンセリングコーナー 8名 若者相談コーナー 0名</p>		
	反省点	新規広報として、Twitter・Facebookを活用したが、効果的な投稿内容の検討ができていないことや、投稿の遅れにより目に見えた効果が発揮できていない。 SNSアカウントの活用の強化や他機関との連携を図る必要がある。		
具体的な実施内容・手法 (該当型に○) いつ・どこで・何を・どのようにするのかを	人材育成型	来春卒業予定者の就職活動解禁日以降に時期を合わせ、八尾市・柏原市合同で就職フェアを開催する。 ・就職フェアやお・かしわら2020 ※2020は幹事・会場が八尾となる 2020年10月(予定)		
	○ 人材交流型	場所:八尾市立文化会館(プリズムホール) 求人社数24社(八尾市16社、柏原市8社) 来場者100名		
	販路開拓型	・就職フェアセミナー 2020年10月(予定) 場所:八尾市立文化会館 受講者数15名		
	ハズオン型	・会社面接会・説明会 <u>2020年7月、9月、12月、2021年3月(予定) 計4回</u> <u>求人社数 50社(1回15社×4回 内、重複10社)来場者100名(1回25名)</u>		
	独自提案型			

4-2. 地域活性化事業 事業調書【変更後】

八尾商工会議所 (担当者:大西)

事業名		求人確保支援事業				新規/継続	継続
明確に)	事業手法 (該当する場合は ○印と下欄に その根拠)	<input type="radio"/> (a)府施策連携	<input type="radio"/> (b)広域連携	<input type="radio"/> (c)市町村連携	<input type="checkbox"/> (d)相談事業相乗効果		
		労10番 大阪府総合労働事務所、公共職業安定所、八尾市、柏原市、柏原市商工会との共同開催					
事業 の 目 標	支援対象企業数	設定根拠及び 募集方法⇒	就職フェアについては、八尾市内企業16社、柏原市内企業8社を設定。				
		24 社					
	支援対象企業 の変化	①人材確保に割く時間や労力、費用が減少。 ②地元求職者へのPRができ、地元求職者の雇用を希望する企業にとって有力な人材確保に繋がる。 ③参加事業所のPR力を問わず、求職者全体に対してPRができ、雇用へ繋げることができる。					
		指標	求人事業所と求職者とのマッチング数			数値目標	5社
	その他目標値1	目標値の内容⇒	・就職フェア(広域連携:100名) HP・市政だより等でPR。大学、高等学校へも呼びかける。				
		100 名					
	その他目標値2	目標値の内容⇒	就職フェア時にセミナーを開催(広域連携)				
		15 名					
	その他目標値3	目標値の内容⇒	・会社説明会・面接会(25名×4回) HP・市政だより等でPR。大学、高等学校へも呼びかける。				
		100 社					
その他目標値4	目標値の内容⇒	八尾市無料職業相談所の求人事業所登録					
	25 社						
その他目標値5	目標値の内容⇒	会社面接会・説明会の参加事業所数(15×4回 重複10社)					
	50 社						

事業名		求人確保支援事業					新規/継続	継続	
算定基準 (行が足りない場合は、⇒ の行に挿入)	⇒	サービス単価		支援企業数		係数		標準事業費	
		40,400	円 ×	24	×	1.00	=	969,600 円	
		40,400	円 ×	100	×	0.05	=	202,000 円	
		20,200	円 ×	15	×	1.00	=	303,000 円	
		40,400	円 ×	100	×	0.05	=	202,000 円	
		40,400	円 ×	25	×	1.00	=	1,010,000 円	
		40,400	円 ×	50	×	1.00	=	2,020,000 円	
		(小計)						4,706,600 円	
		※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算(小計の5%)							円
		計						4,706,600 円	
独自提案単価及び 独自補正係数の根拠 (基準どおりの場合不要)									
算出額	①市町村等補助		円	交付市町村等					
	②受益者負担		円	負担金の積算					
	<input type="radio"/>	(a)府施策連携	<input type="radio"/>	(b)広域連携	<input type="radio"/>	(c)市町村連携	<input type="radio"/>		(d)相談事業相乗効果
	標準事業費		補助率			(①市町村等+②受益者負担)			
	1,474,600 円 × 1.00 =		1,474,600 円		(円)				
	3,232,000 円 × 0.50 =		1,616,000 円		(円)				
補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体 またはヒアリングで説明する 代表団体に○)	代	商工会・会議所名	配分額		役割(配分の考え方)				
	○	八尾商工会議所	2,599,067 円		[就職フェアやお・かしわらの按分] 参加事業所数24社(八尾16社、柏原8社)、来場者100名、セミナー受講者15名 分の補助金を八尾16/24、柏原8/24で按分⇒八尾983,067円				
		柏原市商工会	491,533 円						
			円						
			円						
		円							

【備考】

※会社説明会・説明会について、令和2年5に第1回目を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とした。

※別添で補足する内容があれば添付してください。

小規模事業経営支援事業 地域活性化事業 変更理由書

八尾商工会議所

事業名

求人確保支援事業

計画に対する
実績（数値）

支援企業
数(計画)

支援企業
数(実績)

支援
実績率

【参考】
参加者数

理 由

【変更の経過と理由】

本事業の実施にあたり、八尾商工会議所の大ホールにおいて、2020年度第1回目の会社説明会を予定していた。（年間5回）しかしながら、会場内に不特定多数が集まり、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために国から示された『人ごみなど、多くの人の「密」集する場所、換気の悪い「密」閉空間、近距離での「密」接した会話』といった3つの「密」を避けることが難しい状況であることが判明した。

令和2年4月に府担当者、市担当者と調整した結果、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策のため、令和2年5月15日（金）開催予定の「会社説明会」の開催を中止することとした。

参加予定企業及び求職者、関係機関への中止を連絡し、支援企業には支援を別途行う予定である。

【支援効果】

【今後の改善方策】

【経費内訳】